

くまがや自治連だより

ひろば

第31号

令和5年10月発行



「自治会变革期」

熊谷市自治会連合会

副会長 菊地 修一郎

令和五年五月八日から新型コロナウイルスが五類感染症に移行となったことで、私たちの生活は少しずつですが、コロナ禍前の生活に戻りつつあります。この機会に、新しい取り組みを行う自治会もあると思います。約三年間続いたコロナ禍の中、感染対策を講じながら自治会活動を続けていた皆様には感謝申し上げます。

私たちを取り巻く環境は日々、目まぐるしく変化しており、皆様の自治会においても、役員の高齢化や自治会加入率の低下による担い手不足、ごみ問題、地域のつながりの希薄化など、様々な問題を抱えていらっしゃると思います。以前のように自治会活動を行うことは今後、厳しくなっていくのかもしれない。

このような中で、自治会活動を継続・発展させていくためには、市民の皆様一人一人が熊谷市の未来を創造する主人公であるとの自覚を持つことが大切です。

また、これからは地域の伝統文化を継承しつつも、新しいことに積極的に取り組んでいく姿勢が私たち自治会長に求められているのかもしれない。

会長あいさつ



熊谷市自治会連合会
会長 森田 廣次

熊谷市自治会連合会会長の森田です。令和五年度自治会連合会総会が六月に書面で開催され、全ての議案が承認されました。自治会長の皆様には、日頃から連合会事業に御理解、御協力をいただいていることに厚く御礼申し上げます。また、自治連だより「ひろば」をお読みいただいている皆様、日頃から自治会活動に御尽力いただいているすべての皆様に感謝申し上げます。

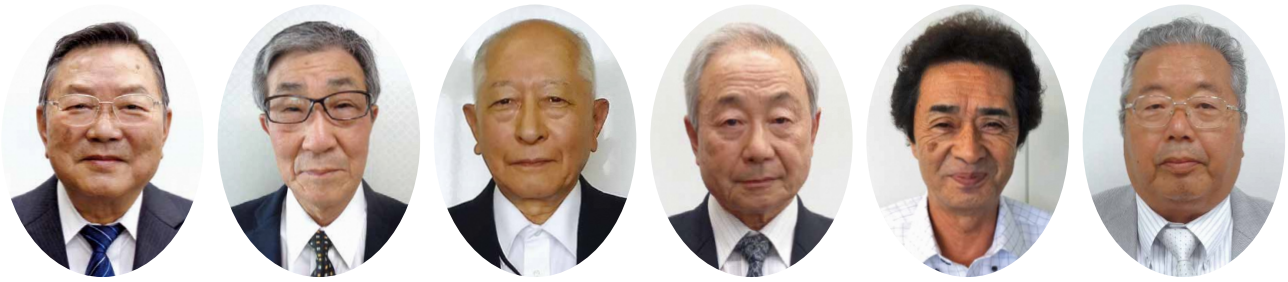
さて、今年はやく熊谷うちわ祭、熊谷花火大会が通常開催となり、街にもコロナ禍前のような活気が戻ったように感じます。熊谷にとつてお祭りは切っても切れない存在です。夏が近づき、お祭りが迫る高揚感を味わえることの幸せを私自身も噛み締めたところです。地域のお祭りをはじめとした歴史ある伝統行事を、後世に継承していくことも自治会の一つの役目であると考えています。

これまでのコロナ禍により自治会活動の継続は簡単ではなくなりました。やりたくてもできない、会いたくても会えないような状況が長く続き、もどかしい日々を送ってきました。しかしながら、新型コロナウイルスが五類感染症に移行になったことに伴って、今夏の地域の納涼祭や夏祭りをきっかけに、自治会活動を例年通りに復活させた自治会もあつたと伺っております。一度、中断したものを再開するには今まで以上の労力がかかりますから、一人でなんとかできるわけではありません。何の行事をするにも事前準備、当日進行、後片付け、反省会。地域の皆様の御協力があつてこそその自治会活動だと実感させられます。

自分たちの地域を自分たちで守り育てる、「住民自治」の意識を、いかにして私たち自治会長世代から若い世代の方々に伝えていけるか。それが熊谷市自治会連合会として今後、考えなければならぬ命題であります。

若年層の自治会員から意見を拝聴する、自治会相互の意見交換を積極的に行う等、これからの活動には新しい視点や価値観を取り入れていかなければなりません。

熊谷市自治会連合会
会長・副会長の紹介



馬場康一 副会長 (西2区選出) | 鎌本定雄 副会長 (東区選出) | 内田功一 副会長 (中央3区選出) | 細井幹夫 副会長 (中央2区選出) | 出井哲司 副会長 (中央1区選出) | 森田廣次 会長 (西1区選出)



橋本弘 副会長 (江南地区選出) | 渡邊重二 副会長 (大里地区選出) | 川田雄一 副会長 (妻沼地区選出) | 丸岡孝夫 副会長 (妻沼地区選出) | 菊地修一郎 副会長 (北区選出) | 堀喜久男 副会長 (南区選出)

自治会長紹介

連合組織を持たない自治会 県営熊谷末広団地 末広四丁目 県営熊谷曙町団地	大松 恵子 水上美喜子 松本富士江	中 西	曙・万平町	筑 波	銀 座	中央1区
		中西第八 中西第七 中西第六 中西第五 中西第四 中西第三 中西第二 中西第一	曙町二丁目第3 万平町二丁目第2 万平町二丁目第1 曙町五丁目 曙町四丁目 曙町三丁目第2 曙町三丁目第1 曙町二丁目第3 曙町二丁目第2 曙町二丁目第1	桜木 筑波第7 筑波第6 筑波第5 筑波第4 筑波第2 筑波第1	末広 住吉町 銀七高山 銀座四丁目 銀座三丁目 銀座二丁目 銀座一丁目	自治会名 会長名
		問庭 武田 高橋 信太 中村 橋本 木村 問庭 関庭 武田 高橋 信太 中村 橋本 木村 問庭 関庭 武田 高橋 信太 中村 橋本 木村 問庭	齋藤 松本 久保田 持田 嶋貫 山崎 橋本 宮本 大江 加藤 櫻井 鈴木 齋藤 松本 久保田 持田 嶋貫 山崎 橋本 宮本 大江 加藤 櫻井 鈴木 齋藤 松本 久保田 持田 嶋貫 山崎 橋本 宮本 大江 加藤 櫻井 鈴木	西倉 島村 黒田 漆原 飯田 後藤 中村 西倉 島村 黒田 漆原 飯田 後藤 中村 西倉 島村 黒田 漆原 飯田 後藤 中村	反町 岩崎 丸山 石川 服部 野本 大久保 出井 反町 岩崎 丸山 石川 服部 野本 大久保 出井 反町 岩崎 丸山 石川 服部 野本 大久保 出井	亮太 喜彦 賢司 邦男 良清 順弘 哲司 亮太 喜彦 賢司 邦男 良清 順弘 哲司 亮太 喜彦 賢司 邦男 良清 順弘 哲司

※赤字は地区連合会長

中央2区

本町	元町	宮町	自治会名	会長名
仲町 北本町 南本町 弥生町西部	墨江 栄町 本町中央 元町第1 元町第2 元町第3 元町第4 元町第5 元町第6	宮町第1 宮町第2 宮町第3 宮町第4 宮町第5の1 宮町第5の2 宮町第6の1 宮町第6の2 宮町第7の1 宮町第7の2	宮町自治会連合会	加藤 守 荻野 節子 重竹 淳二 原島 文子 古川 成之 古川 亨 島澤 行雄 岩佐 博之 林 義博 松原 博
金井 秀郎 田代 博也 長谷川 修一 大月 政之 都筑 米子 高瀬 澄雄 細井 幹夫 細井 幹夫 宇田川 森一 中村 和典 中村 芳広 中村 豊	野澤 政伸 鶴田 幸二 青木 邦行 小彼 秀夫 井上由美子 佐々木雅己 牧野 誠二 吉野 正平 阿久澤秀昭 和田 英利 代 奈津子 黒澤 三千夫	多田 功一 内田 政治 関口 義雄 高橋賢津雄		

中央3区

石原	自治会名	会長名
石原一丁目第1 石原二丁目第2 石原三丁目第3	長谷川 茂	林 高夫 井上 博雄

弥生町東部 鎌倉町 緑 桜町 箱田桜町 箱田神明町 箱田常盤 箱田宮本 宮町中央 大原東 大原西 大原南 大原北	加藤 哲也 岡安 哲也 荻山 清二 田嶋 貞男 原口 明 齋藤 明 堀越 邦夫 金子 雄二 木島 直樹 飯田 栄一 若林 誠二 柴崎 幸夫 高田 敏
--	--

東区

上石	本石二丁目	石原	自治会名	会長名
坪井第1 坪井第2	本石二丁目第1 本石二丁目第2 本石二丁目第3 本石二丁目第4 本石二丁目第5	石原三丁目第1 石原三丁目第2 石原三丁目第3 石原第4	石原三丁目自治会	棚沢 一雄 湯本 千恵 松本 典雄 関口 巖
多田 功一 内田 政治 関口 義雄 高橋賢津雄	野澤 政伸 鶴田 幸二 青木 邦行 小彼 秀夫 井上由美子 佐々木雅己 牧野 誠二 吉野 正平 阿久澤秀昭 和田 英利 代 奈津子 黒澤 三千夫	若林 進 渡辺 勇次 飯田 一好 平岡 康伸 宇野 悦朗		

連合組織を持たない自治会

田町 上石第1 上石第2 石原一丁目 県宮石原住宅 田原町 月見町一丁目 本石二丁目第1 本石二丁目第2 赤城町一丁目 赤城町二丁目 赤城町三丁目	野澤 政伸 鶴田 幸二 青木 邦行 小彼 秀夫 井上由美子 佐々木雅己 牧野 誠二 吉野 正平 阿久澤秀昭 和田 英利 代 奈津子 黒澤 三千夫
--	---

久下	佐谷田	星宮	自治会名	会長名
久下熊久 久下上区 久下下区 久下新区 太井	戸出 平戸 佐谷田北区 佐谷田南区 佐谷田西区 佐谷田東区	池上 下川上	久下熊久	片桐 淳 関根 誠一 新井 正夫 築地 文夫 大島 榮
新井 茂 大澤 茂 新井 茂男	加藤 嘉宏 原口 勝法 鈴木 好一 神沼公三郎 竹井 禎 神沼公三郎	新井 茂 大澤 茂 新井 茂男		

西1区

成田西部	成田	自治会名	会長名
上宿 西向諏訪 西向諏訪 上原 稲荷木陣場 東陣場 藤之宮 京成熊谷上之 雀宮上之	成田第1 上川上 原山 成田廓 成田山 上之五田塚 堀之内 宿裏 成田北部 成田五田塚第1 吉原 上之東部 旧宿裏 上之北	遠藤 進 小森谷 博 櫻井 正臣 柘植 浩之 小堀 宏司 菅原 明彦 大野 静男 砥柄 博二 今井 章人 青木 純雄 廣島 茂 三根 登夫 須賀 康行 小林 丈洋 岡本 三雄 國島 政司	市川 邦彦 櫻井 治 柳澤 篤美 清水 秀雄 竹内 次春 木村 照男 鎌本 定雄 鎌本 公雄

連合組織を持たない自治会

玉井 久保島第一 久保島第二 高柳 泉宮玉井団地 玉井中央 玉井在家	新井 幸一 篠塚 正行 齊藤 洋 高橋 旦 新井 裕三 小井 裕司 山田 迪
--	--

別府	新堀	玉井	自治会名	会長名
下増田 東別府 西別府 別府二丁目五丁目	新堀第5 新堀第4 新堀第3 新堀第2 新堀第1	玉井 久保島第一 久保島第二 高柳 泉宮玉井団地 玉井中央 玉井在家	新井 幸一 篠塚 正行 齊藤 洋 高橋 旦 新井 裕三 小井 裕司 山田 迪	片桐 淳 関根 誠一 新井 正夫 築地 文夫 大島 榮

西2区

別府	自治会名	会長名
別府三丁目 別府四丁目	遠藤 昭雄 青木 隆	坂田 料教

連合組織を持たない自治会

三尻西部 三尻中部 三尻東部 拾六間第1 拾六間第2 拾六間第3 新堀新田 自衛隊官舎地区 女堀	柳澤 一正 権田 健一 荻野 雪光 根本 義人 細野 治久 神田 勇 伊藤 寛 澤田 寛
--	---

荒川	自治会名	会長名
伊勢町 見晴町 宮本町	鎌塚 勉 片岡 福藏 多田 昌	鎌塚 勉 片岡 福藏 多田 昌

籠原 籠原南 籠原 籠原団地第1 日神パレスレジデンス籠原	藤野 和夫 佐藤 保 加藤 郁雄 堀口 靖夫 柏崎 薫 宗我部悦功 市川 啓二 米良 厚
---	---

北区

吉岡	荒川	自治会名	会長名
熊谷ハイタウン ダイアパレス リバーコート熊谷 楊井 平塚新田 万吉 村岡 野部 徳秋 小野 安男 堀 喜久男 片岡 澄夫 吉野 晃	砂堀 宮前東部 宮前西部 河原町 櫻町 野口 幸雄 佐野 隆清 原 邦夫	砂堀 宮前東部 宮前西部 河原町 櫻町 野口 幸雄 佐野 隆清 原 邦夫	横堀久美子 吉野 晃 片岡 澄夫 堀 喜久男 野部 徳秋 小野 安男 堀 喜久男 片岡 澄夫 吉野 晃

連合組織を持たない自治会

肥塚中央 西肥塚 南肥塚 北肥塚 新里 熊谷グリーンタウン 肥塚中島	田口 謙秀 三澤 節男 菊地 貞利 菊地 修一郎 納見 守夫 白石 芳雄 塚越 勉
--	---

大幡	奈良	中条	肥塚	自治会名	会長名
大幡団地 柿沼団地	新島 新島 集福睦会 中妻団地 泉宮熊谷奈良団地	中条川南 小曾根 大塚 中条川南	肥塚中央 西肥塚 南肥塚 北肥塚 新里 熊谷グリーンタウン 肥塚中島	大幡団地 柿沼団地	田口 謙秀 三澤 節男 菊地 貞利 菊地 修一郎 納見 守夫 白石 芳雄 塚越 勉
吉田 晴男 持田 かつえ 清水 政澄 清水 隆一 塚田 仁 青柳 仁	塚本 福典 泉 完治 飯塚 正人 野地 栄子 本橋由美子	池田 三豊 江森 信夫 根岸 計 伊藤 八彦 松岡 計 松岡 八彦	田口 謙秀 三澤 節男 菊地 貞利 菊地 修一郎 納見 守夫 白石 芳雄 塚越 勉		

※赤字は地区連合会長

妻沼地区

男 沼	妻 沼	
男沼台 妻沼台 出来島 間々田 上小島 下小島	若宮・川端 東岡 中岡 妻沼本町・森下 一本木 登り戸 池ノ上 錦町 聖天町 横町 寺内・寺内新田 上町 妻沼仲町 下町 卯月花 福寿寺 弥下 弥藤吾中口 杉之道王子 浅見 北口 年代 弥藤吾新田 妻沼南団地 妻沼神明町 妻沼中央 妻沼東一丁目 妻沼東二丁目 妻沼東三丁目 妻沼東四丁目 妻沼東五丁目	自治会名 会長名
北島 赤石 福島 原口 栗田 中里 高柳 浜田 岡戸 柴野 高野 大嶋 大塩 大島 青木 堀越 清水 益子 白石 堀越 丸岡 榎本 栗原 岡岡 萩原 岡村 小島 筑井 逸見 矢嶋 田久 中島 飯田 栗原	寿和 正明 敬一 秀明 幸次 友之	利男 初雄 秀夫 信光 廣明 忠明 一郎 晴夫 治夫 幸男 由司 義雄 一義 孝夫 正夫 勝隆 敏博 知昭 一男 丈男 一男 石男 明昭 償八 弘志 一政 雅生 邦夫 金司

秦	長 井	太 田	
依瀬 大野上 大野下 弁財 日向中 日向地 日向中 日向中 日向中 葛和田団地 荒宿 向野 西島 下宿 中宿 上入	西野西部 西野中部 西野東部 田島 西城台 西城 上須戸ハイツ 上須戸西部 上須戸中部 上須戸東部 善ヶ島西部第一 善ヶ島西部 善ヶ島中部 善ヶ島東部 八ツ口 江波台 江波 上根	市ノ坪 原井 北武蔵 江北 上江袋南 道ヶ谷戸 八木田 古江原 福王寺 飯塚 前新田 薬西 永東 北間 上平	自治会名 会長名
柿沼 原島 金子 亀井 高野 吉野 島田 江森 永井 石関 金井 丸山 江森 大島 大島	塚本 松本 細谷 武藤 多田 吉田 国本 渡辺 藤野 吉野 石川 筑井 飯島 森田 長谷川 岩崎 内田 鴨居	柴崎 小川 金井 川田 小此木 新井 黒沢 澁江 前原 金子 江原 掛川 北間 永東 薬西 前新田	宮澤 金谷 初雄 隆充 宏 典之 公雄 喜隆 俊幸 政男 雄一 英雄 和隆 隆 一夫 秀人 好一 俊治 良修 勝弘 祐介 一 正 誠 史 正 高 忠



大里地区

大 里	
船木台五丁目 船木台三丁目 船木台二丁目 小八林 青山 箕輪 玉作 相上 向谷 津田 高本 沼黒 吉所敷 中曾根 天水 津田新田 屈戸 小泉 手島 下恩田 替津田 中恩田 上恩田	自治会名 会長名
関口 叶城 野村 村山 堀島 福島 鳴島 安澤 須藤 小倉 岩間 岩間 渡邊 森田 塚本 山岸 管沼 木村 藤井 金井 若林 濱田 吉田	剛徳 健太郎 久美雄 美雄 尚之 富之 栄一 幸 友一 重二 弘 秀行 正家 次郎 晃 豊治 佳三 茂 隆男 健治 博志 政夫

江南地区

江 南	
江南中央 江南パークシテイ 千代 柴原谷 板井 塩 野原 須賀広 御正南 御正第3 御正第2 御正第1 榎春南 榎春北 下押切 上押切 三本 江南中央南 江南みどり 成沢南 あおぼ	自治会名 会長名
千脇 山根 富田 宇治川 飯島 今井 齊藤 吉田 橋本 橋本 橋本 須永 小島 市川 笠原 新井 高橋 吉田 馬場 宮下希佐己	憲治 裕美 利夫 忠則 孝之 清 進 正巳 竹正 敏男 保雄 常雄 章男 保夫 金壽 勝夫 幸男 良男 活夫 昇

※赤字は地区連合会長

全自治会数 362自治会

連合組織を持たない自治会 成沢 水野 照夫

令和5年8月31日現在

自治会に 加入しましょう！

ごみ集積所がきれいに管理されること、暗い道に防犯灯がともること、災害時のための備えなど、普段の地域生活を暮らしやすくするため、自治会は活動しています。

この広報紙をご覧の自治会未加入の方も、地域の大切な一員です。

ぜひ一度、自治会活動に参加してみませんか？

◇本石二丁目自治会連合会◇

会長 平岡 康伸

本石二丁目自治会連合会は、熊谷駅から西に約1km、東は国道四百七号(鎌倉陸橋)、西は乙女町踏切の通り、北は国道十七号、南は秩父鉄道の線路に囲まれたところに位置しており、中心部にはイオン熊谷店があります。連合会には二百三十一世帯があり、五自治会で構成されています。

当自治会も他地域と同様に会員の高齢化、加入世帯の減少が進み、様々な支障が出てきています。また、空き家、空き地が増えており、防犯防災の観点からも深刻な状況となっています。

LINEによる連絡体制

役員間の連絡をよりスムーズにするため、昨年、熊谷市自治会連合会の「自治会デジタル化支援事業」による「自治会出張スマホ講座」を二回に渡り開催しました。私自身、LINEはよくわからず手を出していませんでしたので、LINEによる連絡体制を作ろうと、そのことを目的とした講座としていただきました。講座を開催してみると、参加の役員はスマホのメール機能を連絡手段としてあまり使用しておらず、スマホの操作に慣れていないことがわかりました。そこでスマホの基本的な操

作方法や文字の入力の仕方から教えていただきました。最後はLINEの「二丁目自治会」のグループを作成して終了しました。

最近ではうちわ祭に向けての様々な連絡をLINEのグループトークで行い、写真も共有できましたが、非常に効果的に活用できませんでした。ただ、ガラケーしか持っていないかったり、また講座を受講してもスマホの画面を見ていただけない方もいるため、電話や書面での連絡がなくなるところが課題です。



自治会出張スマホ講座

うちわ祭に向けての自治会活動

当自治会の一番のイベントはうちわ祭です。お祭りには役員総出で対応します。お祭り関係部署の調整と取りまとめ、屋台のぼんぼりの整備、会所の受け付けと会計、御飯屋の管理運営、屋台

巡行の随行など、様々な業務を担当します。

国道十七号を使用した屋台の巡行祭は祭りの行事の中のクライマックスの一つです。しかし、今年も昨年同様、国道十七号の使用は西は本石二丁目交差点までと縮小されました。コロナ禍以前は、本石区の会所の前を全町の山車屋台が通り、たいへん賑やかでしたので、当地域に住む者としてはもの足りない思いがしました。来年は従来通りの巡行祭に戻ることを期待しています。

猛暑による熱中症も危惧されましたが、幸い天候にも恵まれ、今年も三日間盛大かつ無事に終了することができました。



◇宮本町自治会◇

会長 鎌塚 勉

宮本町自治会・地区の紹介

宮本町自治会は、秩父鉄道熊谷駅の近辺に有る鎌倉陸橋の西側に居住する、約百世帯の会員で構成されています。

鎌倉陸橋の下には宮本町公園が有り、『校区花いつぱい事業』で市役所からいただいたペゴニアを置いています。

また、当自治会も市内の各自治会同様、敬老会対象世帯が多く、また空き家も増加しており、今後の自治会活動等については大変懸念しています。ちなみに、今年度の敬老会対象者は、五十名を超えました。



自治会が管理・運用しているごみ集積所

自治会員からの自治会費の集金ですが、特別な事情がない限り、一年分一括納付と自治会規約に記載されていますが、アパート等の居住者からは、自治会費をいただいております。そのためアパートの居住者が、自治会が管理・運用してい

るごみ集積所を利用している場合は、自治会長がアパートの管理会社等に、自治会費納付書を送付し、支払っていただいております。なお、自治会費をいただいているアパートの居住者への市報等の回覧物は、自治会が配布しています。

自治会内の情報共有

宮本町自治会役員内での打ち合わせについてはスケジュール調整が難しく、かなり前もつての日程調整が必須です。そのため、現在はLINEアプリを利用して、情報を共有しております。但し、情報共有はスムーズですが、お互いの意見交換には違和感があり、今後どのようにするべきなのか悩んでいます。

また、現在各班長との連絡については、自治会長が回覧文書を作成し、各班長の自宅ポストに届けており、かなりの時間と労力が必要となっております。その為今後は了解を得た人から、LINEアプリを利用した情報共有を進めて行きたいと考えています。



コロナ禍後の自治会活動

今年の熊谷うちわ祭では、宮本町が荒川区の年番町を引き受け、山車巡行等の祭りにおいては、自治会員の総代長や祭事担当者などが、うちわ祭を盛り上げました。

しかし、令和二年度からのコロナ禍の為、以前実施していた、530運動や自主防災活動等については、未だに計画もできていない状況です。今後早急に、荒川区連合自治会や熊谷南小学校区連絡会なども連携し、活動を再開したいと考えています。



◇中宿自治会◇

会長 江森 毅

中宿自治会・地区の紹介

中宿自治会の大きな特徴として、区域内に熊谷市立秦小学校があり、今年(令和五年)、開校百五十周年を迎えます。地域の他の自治会と秦公民館との協働により、各種イベントを実施して、小学校の周年事業を盛り上げていきたいと考えています。

また、中宿自治会内には、浄土宗大龍寺があり、小学校とともに地区の中心的な存在です。

中宿自治会、上宿入山自治会、下宿自治会のメイン通りである、宿通りおひんち通りは江戸期において利根川



浄土宗大龍寺

を利用した水運により、市が立つほど栄えた地区でありましたが、時代とともに陸運が主要となり、現在は人口の出入りが少ない落ち着いた地区となっています。

今後については、群馬県東毛地区と熊谷市を結ぶ新橋が、埼玉県、群馬県両知事の発言などから、現実のものとなる可能性が高まり、中宿自治会においても、将来的に地域の活性化が期待できる状況になってきています。

活動内容紹介①

通学路の除草後



自治会の紹介でも書きましたが、小学校の周辺自治会で、通学路の環境整備として、特に歩道まで生い茂った雑草が通学のさまざまなげにならないように、小学校周辺の通学路の除草を実施しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自治会のボランティア活動を中止せざるを得ない中、すこの時間でも会員が集まることを考え、対策として短時間(三十分程度)、室外、適度の間隔を取ることで、『中宿集いの会』を催し、会員相互の和の維持を図っています。

地域の祭典である大杉大祭が七月二十三日(日)に行われました。新型コロナウイルスの影響で神輿を三年間担げませんでした。今年は一部の区間ではあったものの、神輿を担いで練り歩くことが出来ることとなり、自治会も参加しました。

自治会内にも長年、空き家となっている家屋や稼働していない廃工場があります。自治会として独自に調査を実施するも進捗しておらず、市役所担当部署と協議を重ねている状況です。

活動内容紹介②

会員が自主的にウォーキング等をしながら日常的にゴミ拾いを実施しています。地域的に農業地帯であり、畑や田んぼが広がる地域であり、特に田んぼ周辺につきまちは人の目が行き届かず、幹線農道の周辺にはペットボトル、カン、ビン、弁当等のプラスチックゴミ等が捨てられ放置されている状況です。この活動は、地域の美化のため、また、近年注目されている経年劣化によりマイクロプラスチック化したゴミが、田んぼの土壌に入り込むことによる土壌の悪化、さらには、田んぼからの排水とともにマイクロプラスチックが、河川に流れ込み魚類等に悪影響を与えることが懸念されるために行う活動です。

まだ立ち上げたばかりですが、上記のゴミを回収↓分別↓ゴミ出しのサイクルにより、美化の促進と資源ゴミのリサイクルを図っています。



↑撤去前

↓撤去後



令和5年度熊谷市自治会連合会定期総会

今年度の熊谷市自治会連合会総会につきましては、令和2・3・4年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、書面で開催としました。

6月に総会議案を書面で議決し、全ての議案が承認されました。

- 総会議案**
- ・令和4年度事業報告及び決算報告
 - ・役員選出(案)
 - ・令和5年度事業計画(案)及び予算(案)

総会議案は自治連ホームページでご覧いただけます。
左記QRコードを読み取るか、「熊谷市自治会連合会」で
検索すると、該当ページが見つかります。



<https://kumagaya-jichiren.com/>

令和5年度熊谷市自治会連合会表彰式

令和5年度の総会は書面議決でしたが、表彰対象の会長・役員のみ御出席いただき、少人数で表彰式を実施しました。

(6月22日(木) 大里生涯学習センターあすねっと)



令和5年度新任自治会長研修

令和2年度から中止していた新任自治会長研修を今年度、再開しました。今年度、新たに自治会長に就任した方々を対象に、2日間に分け開催しました。研修の内容としては、講師として水津陽子先生をお招きし、講演会を実施したほか、1グループ10名程度で、自治会として抱えている問題や相談を皆さんで共有できる自治会長同士の交流会を実施しました。

(6月29日(木) 江南行政センター、7月1日(土) 妻沼中央公民館)



編集後記

熊谷市自治会連合会副会長 川田 雄一

「ひろば」第31号の発行にあたり、御寄稿いただいた各自治会長の皆様に感謝申し上げます。本石二丁目自治会連合会、宮本町自治会の情報共有にLINEアプリの利用の取組は先進的です。また、中宿自治会の自主ゴミ拾い、マイクロプラスチックの問題は全ての地域で検討しなければなりません。

熊谷花火大会は、コロナ禍以前のように盛況に開催されました。今年は様々な行事が復活します。これを契機に、自治会が変化に対応し、新しい取組に挑戦できる大きなチャンスになる可能性を感じます。

先日開催された新任自治会長研修では、各地域の諸問題、良き取組発表、コーディネーターの先生の講演など、大変参考になりました。

近年、異常気象により各地での災害が連日ニュースになっています。いざという時の備えと日々の健康に御留意ください。各自治会員の皆様の御発展、御活躍を心より祈念申し上げます。

自治会デジタル化支援事業の御案内

スマホに詳しい専門講師を派遣する「自治会出張スマホ講座」を令和5年度も引き続き実施しています。

派遣にあたっては条件がございますので、詳しくは事務局にお問い合わせいただくか、自治連HPを御覧ください。

熊谷市自治会連合会事務局

(熊谷市市民活動推進課内)

電話 048-524-1129(直通)